

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Drawing					公表日 令和7 年 3月 30日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	地域の交流センターや公園を活動場所にしたり、グループごとに活動場所を分けるなどして工夫しています。	個別や少人数で集中して行いたい課題の時には、活動時間をずらすなどの工夫を継続します。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	指定基準以上の人員を配置しています。	ニーズに応じて、職員数の見直しを行います。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	身支度を整える場所、作業を行う場所など活動の切り替えがしやすいように、工夫をしています。	玄関口の階段やトイレの導線など、肢体不自由な方に対してのバリアフリー化はされていません。移転する機会があった際には十分検討してまいります。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	活動ごとにレイアウトを見直しをして、心地よく過ごせるように工夫しています。	サーキュレーターやヒーターなどを活用し、快適に過ごせるよう対策していきます。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2	パーテーションやカーテンを設置し、緩やかに空間を区切って活動内容に合わせて使い分けています。	必要に応じて相談室を利用者の方が適宜利用できるような整備してまいります。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	振り返りや打ち合わせは日々行い、各自任された業務内容の進捗状況を共有し、職員全体でPDCAサイクルを行っています。	従業員全員が揃う時間を確保していく予定です。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	評価表をご提出いただき、ご意見を真摯に受け止めて業務改善につなげるよう、努めています。	全家庭からご回答頂けるような工夫をしています。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	パートスタッフも含めた全体ミーティングを月に1回～2回程度行い業務改善につなげています。	全員で意見を交換できる機会を増やしていきたいです。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	評価を受けホームページで公開しています。結果を踏まえ、改善点は事業所内で話し合いをして改善に努めています。					

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	外部研修：スタッフ研修の回覧板で研修案件を知り、外部研修に参加しています。 内部研修：全体ミーティングの際に小さな勉強会を行っています。	全員が集まる機会を活用し、内部研修の充実を図ってまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	Drawingの特色を明記し、ホームページ上に公表しています。	ホームページが一新されています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	設定した課題に応じて適切なアセスメント方法を吟味し、応用行動分析の視点で課題分析を行い、支援方法を打ち出しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	全体の活動プログラムと個別のプログラムをスタッフ間で検討しながら設定し、さらに毎日の打ち合わせでねらいやリスクについて綿密な立案をしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	支援計画を作成した段階で、全職員が必ず支援計画を確認する体制を取っています。また、日々の支援の中でも適宜読み返しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	標準化されたアセスメントツールはVineland-Ⅱ適応行動尺度を使用しています。必要に応じてボーディングチェックリスト等も使用しています。また、新版K式発達検査をDrawingで受検できる体制を整えています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	4つの柱それぞれに関わる支援計画の作成を行い、利用者の方の特性や、ご本人とご家族の願いを反映した具体的な支援内容を設定し、日々の活動に反映しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	全体の活動プログラムと個別のプログラムをスタッフ間で検討しながら設定し、さらに毎日の打ち合わせでねらいやリスクについて綿密な立案をしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	室内や公園、交流センターなど活動場所は様々です。日ごとに活動内容を決め、子供たちが楽しめるように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	特性や、ねがい等に応じて支援計画を作成し、計画に沿って小集団活動、個別の時間などを適宜取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	当日の支援開始前にリスクやねらいを話し合い、支援内容の確認や担当スタッフについて、打ち合わせを重ねています。活動中、役割に応じて担当スタッフを変更することもあります。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	支援記録を記入しながら、その日の支援の振り返りを行い共有しています。	責任者とスタッフの振り返りは必ず行なっている。その内容は全職員に共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	心身の様子や課題の達成状況などを共有し、支援記録に残しています。また、支援記録内容は支援計画のモニタリングにも反映しています。パートスタッフにも支援記録に必ず目を通すよう、指導しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	支援計画のステップに沿って、モニタリングを行っています。その他で評価しておくべきこともモニタリング資料として記録しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	4	0	基本活動のすべてに関わる支援計画の作成や活動を提供しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	個々の特性や能力に応じて、自分で活動の内容を選択（2者択一、沢山の中から選ぶ）したり、スケジュールを組み立ててもらったりしています。	
関係機関や保護者と	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	担当者会議の前にはスタッフ全体で話し合いを行い、会議自体は主に管理者が出向いています。必要に応じて他のスタッフが同席することもあります。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	今年度から保育所等訪問支援事業をスタートし、今まで以上に連携して支援に取り組む体制作りができてきています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	保護者さんを通じて学校の行事プリントをいただいています。また、地域の小学校に関しては、下校時刻のプリントを直接いただける学校もあります。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	ご協力いただける保護者さんからは、就学前の通園先が作成した移行資料を提供していただいています。今年度から保育所等訪問支援事業を開始したので、そちらで得られた情報を有効活用してまいります。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	Drawingのモニタリング資料を保護者の方にお渡しし、保護者の方の判断で進路先に自由に提供して頂けるようお伝えしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0	専門機関主催の研修に積極的に参加しています。	

の 連 携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	0	長久手の児童総合センター（モリコロパーク内）などの児童館を月に1回程度利用し、空間の共有をする機会を設けています。	様々な特性の方がいる中で活動を共にするのは難しいところもあり、保護者の方も希望されていない方もいらっしゃるため積極的に行う予定はありません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	管理責任者が参加をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	連絡ノートにその日の様子や活動内容、課題に沿った内容等詳細に記録し、毎利用日に保護者宛てに送信しています。また、保護者記載欄を設けご自宅での様子や困りごと、共有事項を記入して頂いています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	面談時に事業所内相談時間を設定し、困りごとの相談や支援方法のアドバイスをしています。また、見学希望を募り支援の様子を利用日に見学頂いています。	Drawingらしい研修の機会を今後増やせるようにしてまいります。ベアトレの講座も行っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	ご利用開始時の契約段階で説明をしています。また運営規定に変更がある際はその都度同意のサインをいただいています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	支援計画を作成する際に、ご本人の願い、ご家族の願いをアンケートや面談でお伺いする機会を設け、日々の活動の中にもその内容を反映しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	ご利用開始時の契約段階で説明をしています。また運営規定に変更がある際はその都度同意のサインをいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	ご相談があった際には、ご家庭に訪問させていただいて面談をしたりするなどして、迅速に対応させていただいております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	1	活動参観ご希望者の保護者さんにはお子さんの普段の活動の様子をみていただいています。	次年度はイベント企画を増やし、交流の機会を設けていきたいと思っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	重要事項説明書及び利用契約書に明記し、ご契約時に整備体制についてお話をさせていただいております。苦情があった場合には迅速かつ丁寧な対応に徹するよう努めます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	instagramを中心に活動の内容を発信しています。長期のお休みの前には、外出予定カレンダーを作成し配布しています。	一新しましたホームページを工夫して活用していきます。

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	契約時に、利用契約における個人情報使用同意書へのサインをいただき、さらに個人情報に関するアンケートにてさらに細かくご回答いただき、個別に注意する点に気を付けています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	代替コミュニケーション方法を用いたり、代替コミュニケーションスキルを身に付ける取り組みを活動内で行っています。また視覚優位・聴覚優位な個々の特性に配慮した情報の伝達方法も取り入れています	ご家庭や、学校など事業所以外の場面でも活用を希望される保護者の方への勉強会などを今後は開催できたらと考えています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0	まっとつながる祭にて、Drawingの活動体験をブース出展しました。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	マニュアルを作成し、職員・保護者への周知とマニュアルの配布を行っています。	訓練の実施内容や実施時期に偏りがあったため、様々な場面を想定した訓練を、時期を変えて定期的に今後は実施してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	業務継続計画を策定し、適宜見直し改定を行なっています。毎年3月に数回、避難訓練を想定や避難場所を変えて行っています。	頻度を増やし気候に合った避難場所、方法なども考えて訓練をしていきたいと考えています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	ご利用開始前の面談時に確認を行なったうえで、ご利用を開始頂いています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	保護者を通じて医師の指示を仰ぐ体制となっています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画を作成し、スタッフに周知した上で研修も行なっています。予期せぬ出来事があった際には、迅速に共有し対策を講じています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	ご利用開始時の契約段階で説明をし、周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	事例を共有し、実際の現場で運用可能な対応策を練ったあと、記録として残しファイリングしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	虐待防止委員会を設置し、スタッフ全員で倫理・虐待予防研修を行ったり、外部の研修にも参加しています。	

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	該当事例があった場合には、保護者に丁寧に説明をした上で、身体拘束説明書・身体拘束に関する同意書へのサインをいただき、経過観察記録や、再検討記録をとっています。終了の際も同様に行っています。	
--	----	--	---	---	--	--